

別紙

丸善製薬株式会社 三次工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
丸善製薬株式会社 三次工場
- (2) 事業所の所在地
広島県三次市南畑敷町 870-32
- (3) 業種
他に分類されない食料品製造業
- (4) 事業所位置図
別途、添付

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成25(2013)年度から平成29(2017)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

私たちは健康で豊かな生活を営むために、かけがえのない地球と限りある資源を次の世代に引き継ぐことが責務であることを認識し環境と調和した事業活動を積極的に務め、次の活動を推進します。

- ① 生産から廃棄に至るまでの全過程において環境に及ぼす影響を十分に理解した上で、環境に配慮した製品開発と製造技術を推進します。
- ② 環境保全活動を推進ならびに徹底するために環境マネジメントシステムを整備し改善していきます。
- ③ 事業活動における廃棄物の削減とリサイクルを行うことにより省資源、省エネルギーに取り組みます。
- ④ 地域社会の一員として、環境保全活動への参加と社員の自主的な活動への支援に積極的に協力します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	不明	4,924	5,107

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	0	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
メタン	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0
HFC PFC SF ₆	0	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指表：使用原材料（t）

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成29年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,924	490.5	10.04	5.1	5,050	530.0	9.53
非エネルギー起源CO ₂	0	0	0	0	0	0	0
メタン	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0
フロン類	0	0	0	0	0	0	0
総排出量	4,924	490.5	10.04	5.1	5,050	530.0	9.53
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			3.66				3.45
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

《記入例》

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	高効率照明器具への更新
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

《記入例》

	種類	合計量
1	特になし	t-CO2
2		t-CO2
3		t-CO2

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	特になし		

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別途、添付

(2) 実施状況の点検・評価

生産課が中心となり、毎年、温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において、定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに事業所に備え付けて閲覧する。

(3) 計画書等の公表

・事業所に備え付けて閲覧する。

以上